

令和8年
6月28日(日)

開場 13:30

開演 13:50

移民の大量増加は 日本に何をもたらすのか

～歴史と文化の視点から～

令和7年末の在留外国人数：**412万人**。

前年比35万6千人増（増加率10%）。

4年連続で過去最高。

講演趣旨

移民の大量増加は、治安の悪化、永住許可を受けた途端の住民税・健康保険料の滞納の横行、日本人労働者の賃金低下などの問題だけでなく、ヨーロッパの前例のごとく、大量移民によってその国の民族構成が代わり、日本が日本でなくなる恐れがあるのだ。ではどうすれば良いのだろうか。

開催概要

日時 令和8年6月28日(日)
開演 13時50分
(開場：13時30分)

会場 我孫子南近隣センター
(けやきプラザ) 第一会議室

参加費 1,000円
(高校生以下無料)

主催：教育を正す東葛市民の会
問合せ：岩淵（電話：090-4847-0400）
iwa.norinori@nifty.com

講師

岡田邦宏 日本政策研究センター所長

昭和27年和歌山県生まれ。京都大卒。日本政策研究センターの設立に参加。月刊誌「明日への選択」編集長、日本政策研究センター副所長を経て、平成20年より現職。『渾身の勇気と忠誠と』『朝鮮人強制連行はあったのか』『参政権と移民が国を滅ぼす』などの著書のほか、多数の編著を手掛ける。共著に『昭和史20の争点 日本人の常識』（文藝春秋）、『再審「南京大虐殺」一世界に訴える日本の冤罪』（明成社）がある。

移民の大量増加は 日本に何をもたらすのか

～歴史と文化の視点から～

令和8年6月28日(日) 開演 13時50分

我孫子南近隣センター（けやきプラザ）第一会議室

参加費 1,000円（高校生以下無料）

主催：教育を正す東葛市民の会 / 問合せ：岩淵 090-4847-0400